

第4章 計画の目標

1 さいたま市が目指す将来像

目指す将来像

人と自然が共生する緑豊かな美しい都市の創造

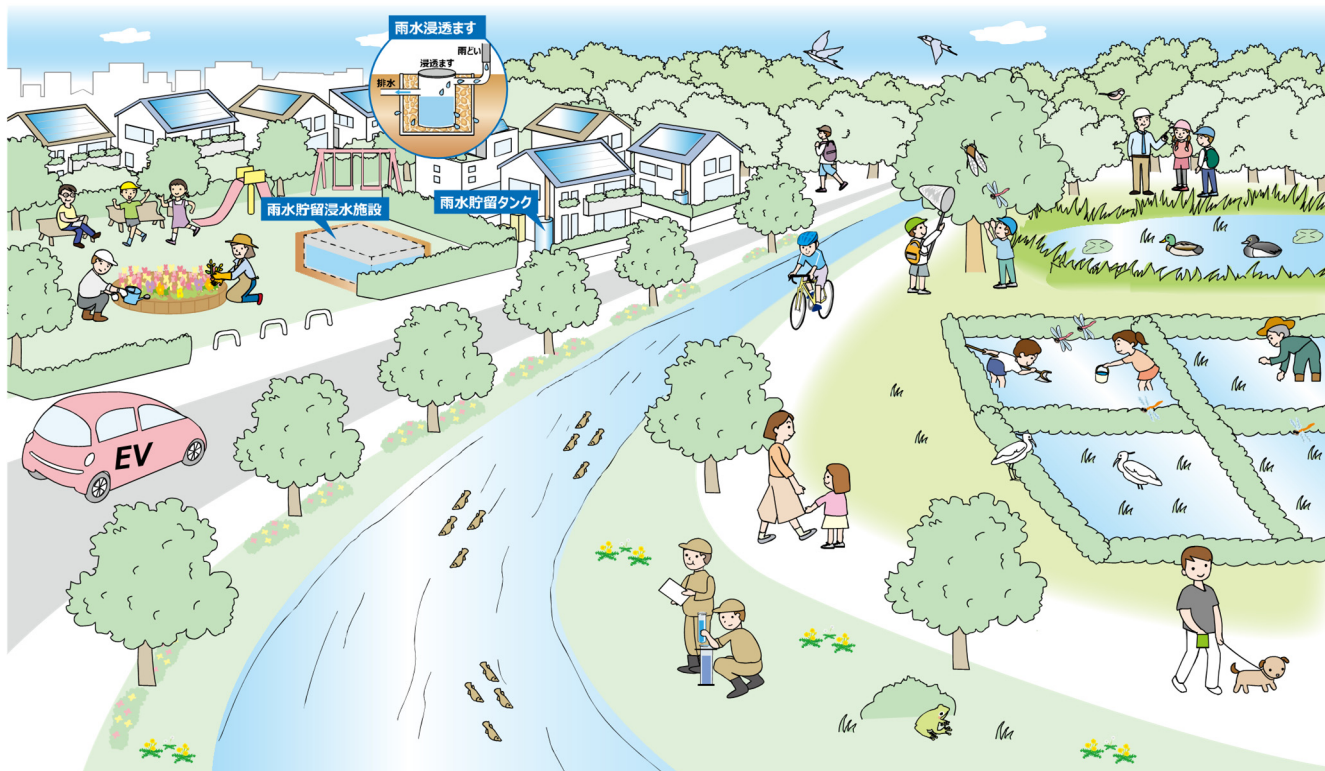
【目指す姿】

本市の環境の基盤である水の循環は、その健全な循環が保たれることによって、市民や事業者が生活や事業活動に持続的に利用できるようになっていきます。このように市内を循環する豊かな水は、市内にすむ動物や植物にとっても重要であり、市内の緑の拠点でもある荒川や見沼田圃、元荒川周辺の水と緑や、里やまなどの自然は、多くの生きものたちの生息・生育の場となっています。これらの清涼で豊かな水と緑は市民に自然とのふれあいの場を提供するだけでなく、畑や水田等の農地としても活用されています。

また、公園・緑地の整備や、市街地での開発行為の際には可能な限り緑地を設けたり、雨水浸透施設等を整備したりするなど市街地部の水循環を確保することで、湧水が復活し、メダカなど生きものが身近に見られるようになっていきます。市内の水辺は、安全に配慮して整備され多くの市民が親しんでいます。

また、災害にも強いまちづくりが進められており、安全・安心な市民生活が実現し、パートナーシップによるまちづくりが進められています。

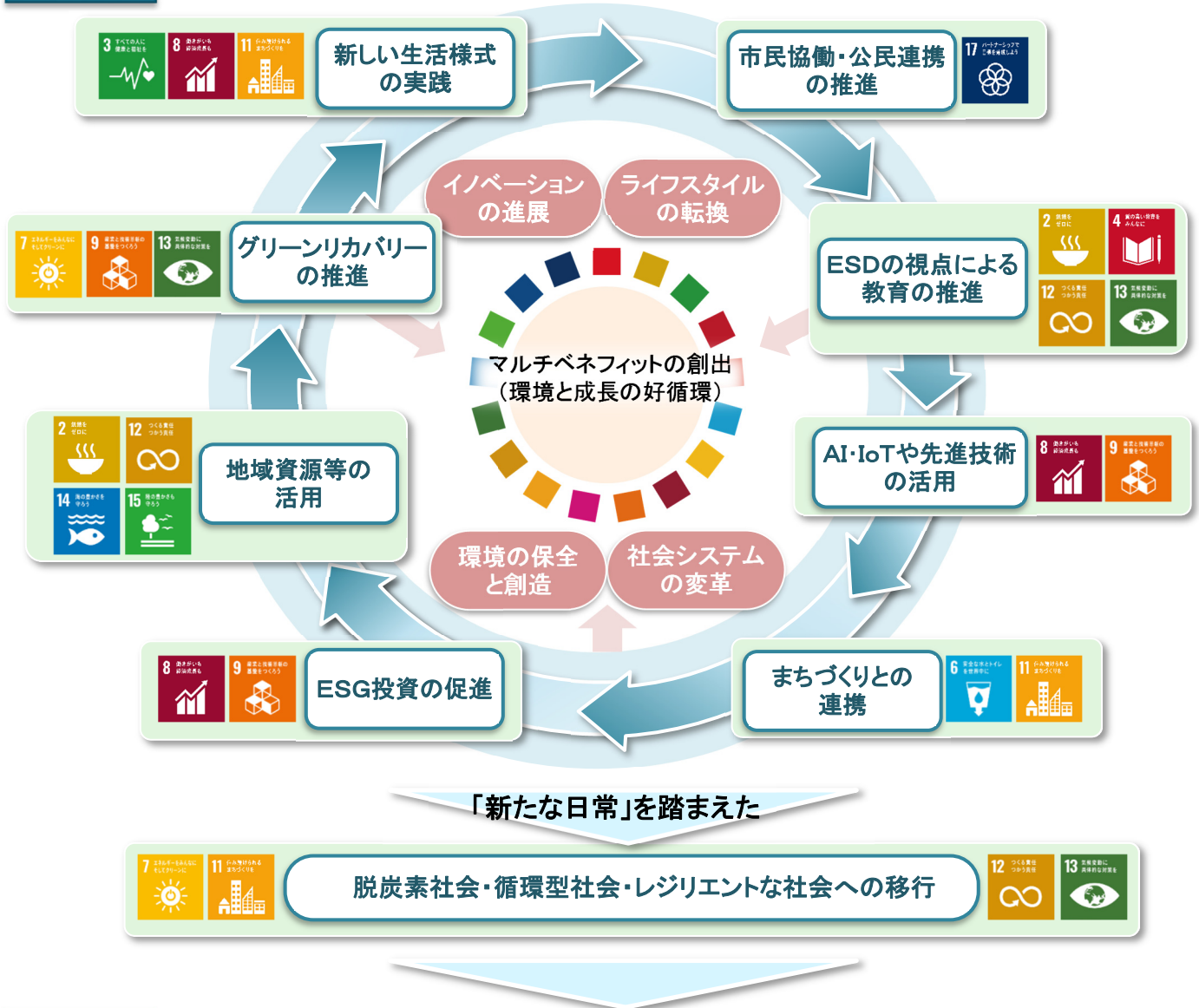
<目指す将来像のイメージ>



2 計画の方針

本計画の方針は、水環境・生物多様性を取り巻く社会情勢の変化や旧計画における取組状況とその課題を踏まえ、上位計画である「さいたま市総合振興計画」や「さいたま市環境基本計画」の方針に基づきます。

計画の視点



基本方針

- | | | |
|---|---|---|
| <p>① SDGsを意識した施策の推進</p> <p>SDGsの概念に基づき、持続可能な社会を構築する基盤と捉え、地域の社会や経済の向上に繋がるものとして、分野横断的に取り組みます。</p> | <p>②多様な主体との連携による施策の推進</p> <p>市内における連携・協働の輪をさらに広げるとともに、他地域との連携を深め、環境保全の取組の幅を広げていきます。</p> | <p>③水環境と生きもの保全の総合的な推進</p> <p>より良い水環境の形成と生物多様性の保全に向けて、市民、事業者、学校、行政等のあらゆる主体が協働し、保全・創造策を総合的に推進します。</p> |
|---|---|---|

将来像

施策の柱

人と自然が共生する緑豊かな美しい都市の創造

①生物多様性の保全とその持続可能な利用

生物多様性に関する市民等の理解を深めるとともに、ビオトープの整備やエコロジカル・ネットワークの形成、外来生物への適切な対応等を推進

②健全な水循環の確保

さいたま市の水循環の健全性を確保し、市民の暮らしの安全・安心の確保、水の有効利用や地下水の涵養等の実現

③良好な水環境の保全と創造

さいたま市内の河川・水路の水質を改善し、市民の憩いの場となる水辺の整備による、良好な水環境の保全と創造

④すべての主体の参画による活動の推進

すべての主体が水と水辺、緑と生物多様性の保全に積極的に取り組むための教育・学習の推進

本市は、今後も人口増加と都市化が進んでいく中で、今なお残る荒川や見沼田圃、湧水などの貴重な自然環境を守り育てるとともに、私たちの身近な生活空間においても大小様々な水辺や緑を創出することで、市内全域が動植物の生息・生育空間となるエコロジカル・ネットワークを形成し、人と自然が共生するまちづくりを目指します。

3 計画の目標

本市のように都市化が進化した地域では、限られた区域に残る豊かな自然環境を保全することはもとより、身近な水辺や緑地に関心を持ち、その保全や再生、利活用を積極的に進めていく必要があります。事業所内に整備した小さな水辺がトンボ類の休息の場になったり、庭に植えた蜜を持つ花がメジロを呼び寄せたりするなど、一般家庭や事業所におけるささやかな活動の輪が、地域の生物多様性の保全につながります。

本計画は、「さいたま市環境基本計画」に記載された内容のうち、互いに密接な関係にある生物多様性の保全と健全な水循環の確保及び良好な水環境の保全に係る施策・取組を一体的に推進するものです。そのため、環境基本計画の基本目標3「自然と共生し、多様ないのちが息づくまちを実現する」と基本目標4「安全で誰もが暮らしやすい生活環境を実現する」の成果指標・目標指標の達成に向け、前項「2計画の方針」において掲げた4つの施策の柱に沿って様々な施策を推進します。

また、第5章で施策の柱ごとに定めた目標管理指標の実現が、目指す将来像の実現を図る成果指標の達成に貢献し、ひいては「人と自然が共生する緑豊かな美しい都市の創造」の実現につながるものとなります。

〈環境基本計画に掲げる成果指標・目標指標〉

基本目標3 自然と共生し、多様ないのちが息づくまちを実現する

基本目標	成果指標			
	成果指標項目	実績	令和7年度	令和12年度
自然と共生し、多様ないのちが息づくまちを実現する	水辺や緑地の保全・再生活動に関心がある市民の割合	61.0% (令和2年度)	68%	73%
施策の柱	目標指標			
	目標指標項目	実績	令和7年度	令和12年度
3-1 生物多様性の保全と再生	自然観察・環境学習会に参加して生物多様性について理解した参加者の割合	27% (令和2年度)	67%	87%
3-2 緑の保全と創出	オープン型緑地の整備率	85% (令和元年度)	90%	95%
3-3 水環境の保全と活用の推進	水辺のサポート制度登録団体数	15団体 (令和2年度)	23団体	31団体

基本目標4 安全で誰もが暮らしやすい生活環境を実現する

基本目標	成果指標			
	成果指標項目	実績	令和7年度	令和12年度
安全で誰もが暮らしやすい生活環境を実現する	生活環境(空気・水のきれいさ、静けさ、におい・かおり)に満足している市民の割合	44.8% (令和元年度)	50%	55%
施策の柱	目標指標			
	目標指標項目	実績	令和7年度	令和12年度
4-2 水質の保全	水質汚濁に関わる環境基準達成率 (公共用水域の測定計画地点7地点)	99.2% (令和元年度)	100%	100%